

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 足立区障がい福祉センター幼児発達支援室

公表日 2025年3月28日

利用児童数

60名 2025年1月31日

回収数 32通

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	7			体格のいい子が複数名いると少し狭い感じがします。 年中、年長さんぐらいの子どもたちが同時に自由に遊ぶにはプレイルームなど少し狭いかなと思います。 観察室・保健室前の廊下の整理が必要。 プレイルームが広く体をいっぱい動かせて良い。	テラスやプレイルーム、クラスの部屋等を工夫して活用し、十分な遊びスペースを確保できるようにしていきます。 倉庫や観察室の整理については、定期的に行っています。整理不十分なスペースについては見直し、改善していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3	1		たまにもう一人いたらなあと思うときがあります。	職員の人数は、基準以上に配置しております。毎朝ミーティングを行い こどもの人数や活動内容によって、職員体制を組んでいます。今後も十分な体制を取るようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	4			トイレ内はイタズラできそうな場所が少しあるのでヒヤッとするときがあります。 突っ張り棒でカーテンをしているが、落ちたことがあった。	環境を整え、把握できる人数でトイレを利用することで、事故のないようにしています。 後付けのカーテンは、必要な期間だけの一時的なものです。危険のないように気をつけ、期間が終われば撤去します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	3	1		きれいとは言えない場所があると思います。 おもちゃを口に入れている子を見かけた。そのままになっているかもと思うと少し気になった。 掲示物の劣化が目立つ。	今後、さらに清潔な環境づくりを心掛けていきます。 事故につながりかねないことなので全職員で共有し、今後十分に気を付けていきます。おもちゃは、定期的に消毒し、口に入れたものは、その場で消毒しています。 掲示物は更新のため作成中です。指導プログラムについては、ホームページにも掲載します。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	2			一人ひとりの特性に合わせるのには人数の関係や時間の都合上難しそう。	個別支援計画は、こどもの特性を踏まえたうえで、一人ひとりについて作成させていただいています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	3			こどものことをよく見てくれており、その上でアドバイスをいただいた。またそれが計画に反映されている。	今後もお子さん一人ひとりの特性に応じた計画を立てていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2	1	2	支援の具体的な内容の説明がなかった。	年度当初のクラス懇談会や、年度途中の保護者連絡会を通して、ひよこの療育について説明させていただいています。個別支援計画の紙面や面談内容も、今後、よりわかりやすく説明させていただきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	3				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	4			自由遊びの時間が長いように思う。	自由遊びの時間は、個別課題に取り組む時間でもありますので、ある程度の取り組み時間が必要です。クラスが利用するスペースの空き時間調整という面もありますので、テラスやホールを有効に活用し、長くなりすぎないよう工夫していきます。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	5	8	5	日々の活動の中では全然ない。 通っている施設での交流があると面白いと思う。	今年度は特別支援学校との交流の機会や、保護者の保育園見学の機会を持ちました。今後も交流機会の増加について検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	3			父母会の説明がなかった。	父母会とは今後も協力し、役員以外の皆様にもわかりやすく説明できるよう、支援していきます。活動を支援していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32				ペアトレで教えていただいたことが他のきょうだいの子育てにも役立っています。 ペアトレは面白かった。先生たちも受けられたら良い。 OTやSTによる簡単なトレーニングが役に立っている。	職員もティーチャーズトレーニングとして、年3回の研修・演習を行いました。 作業療法士や言語聴覚士には、クラス集団に入っている指導や個別指導・評価等に今後も関わっていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	27	5			連絡ノートや直接の声掛けで行っている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1			日頃の声掛けや、個別指導が心の支えになっています。 子どもたちが遊んでいるときや、振り返りの時間などで行ってくれている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	2			職員をバランスよく配置した方がいいと感じた。 困っていることの共感、アドバイスは大変助かります。	次年度の体制検討の際には、職員のバランス良い配置や、こども達のクラス分けについても検討していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	8	2	8	きょうだい同士の交流は少ないと思います。 父母の会の活動を職員たちもよく知った方が良い。	今年度は父母の会と共催という形で おたのしみ会を実施することができました。 今後も保護者支援・きょうだい支援について検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	5			連絡帳に書いた内容について、丁寧に対応してもらっている。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2	1	1	情報のないときがあり不安がある。	来年度から、情報を速やかに伝達するため、ICTツールの導入準備をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	2		2	ホームページ・SNS等はないと思います。 連絡などアプリを使ってできるシステムにした方が良いと思う。	来年度から、ICTツールを導入するべく準備中です。 4月から、足立区の電子通知ポストを利用し、お知らせなどのメール配信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1		1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	1	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	4		7	行っていたけど、定期的の期間がわからない。	幼児発達支援室では月に1回、避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	2	4	こども同士のトラブルが続けて起きたことがあり職員の対応が不十分であったように思った。 先生の対応が早く、安心できた。	職員一同、気を引き締めて、事故・トラブルのないように対応していきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	3		1	泣くこともある。	楽しい通所となるように、今後も工夫した活動に取り組んでいます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	3			とても楽しいようです。 あしすとにかく日ではない日も“行きたい”と言っていくのを楽しみにしています。	

	29	事業所の支援に満足していますか。	27	3				
--	----	------------------	----	---	--	--	--	--